



Banco MUFG Brasil S.A.
Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

			6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月25日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7470	3.7720	3.7680	3.7850	3.7740	-0.0110
	BRL/JPY	Spot	29.380	29.250	29.19	29.05	29.08	+0.03
	EUR/USD	Spot	1.1589	1.1575	1.1603	1.1654	1.1703	+0.0049
	USD/JPY	Spot	110.08	110.36	109.99	109.97	109.77	-0.20
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.995	6.997	7.013	7.036	6.946	-0.090
	Future	1Year(p.a.)	7.893	7.904	7.842	7.979	7.814	-0.165
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.882	4.011	4.152	4.239	4.091	-0.148
	USD	1Year(p.a.)	4.486	4.589	4.800	4.800	4.822	+0.022
株式	Bovespa指数		71,394.34	72,123.44	70,074.88	70,074.88	70,953.00	878.12
CDS	CDS Brazil 5y		273.32	270.30	267.95	267.95	264.28	-3.67
商品	CRB指数		193.825	194.983	194.400	194.400	195.345	+0.94

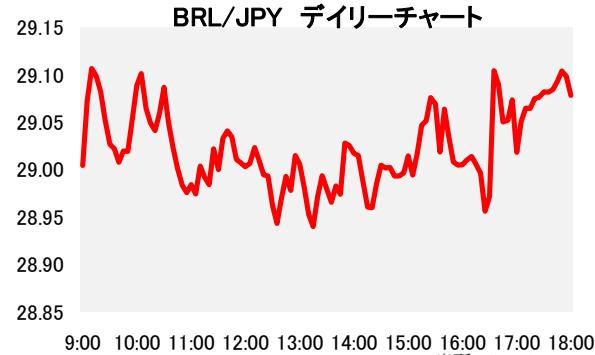
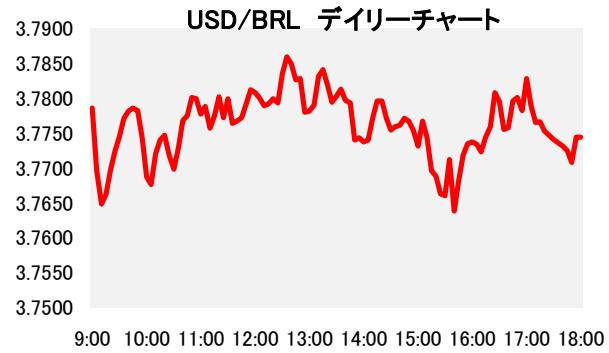
* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGV CPI IPC-S	1.16%	1.17%	1.00%
経常収支	\$935m	\$729m	\$620m
海外直接投資	\$3000m	\$2978m	\$2618m
貿易収支(週次)	--	\$2058m	\$1970m
(米)シカゴ連銀全米活動指数	0.30	-0.15	0.34
(米)新築住宅販売件数	667k	689k	662k
(米)ダラス連銀製造業活動	24.9	36.5	26.8

3. 要人コメント

なし	
----	--



4. トピックス

- 本日のレアルは日中安値3.7870で寄り付き、直後に買いが先行すると日中高値3.7630を付けた。米中貿易摩擦の再浮上により国外市場ではリスクオフ姿勢が強まつたが、大口の資金流入と思しきフローによりレアルは終日底堅く推移。本日、伯中銀による追加のドル売り介入は行われなかったものの、3.76台から3.78台で揉み合う展開が続き、結局3.7740でクローズした。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が1.76%から1.55%、2019年は2.70%から2.60%へ下方修正された。インフレ率予想は2018年が3.88%から4.00%へ上方修正され、2019年は4.10%で据え置かれた。年末の為替レートは2018年が3.63から3.65へレアル安方向に修正され、2019年は3.60で据え置かれた。
- 本日、伯中銀は既存ポジション4.4億ドルのロールオーバー以外に追加のドル売りスワップ入札を実施しなかった。一方、四半期末のドル買い需要に対して5億ドル相当のFXクロジットラインの入札を実施。先週末に発表した30億ドルより少ない入札額となったものの、本件は同じレートで将来ドルを買い戻す条件が付いた取引であり、レアル相場への影響は限られた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあります。また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。